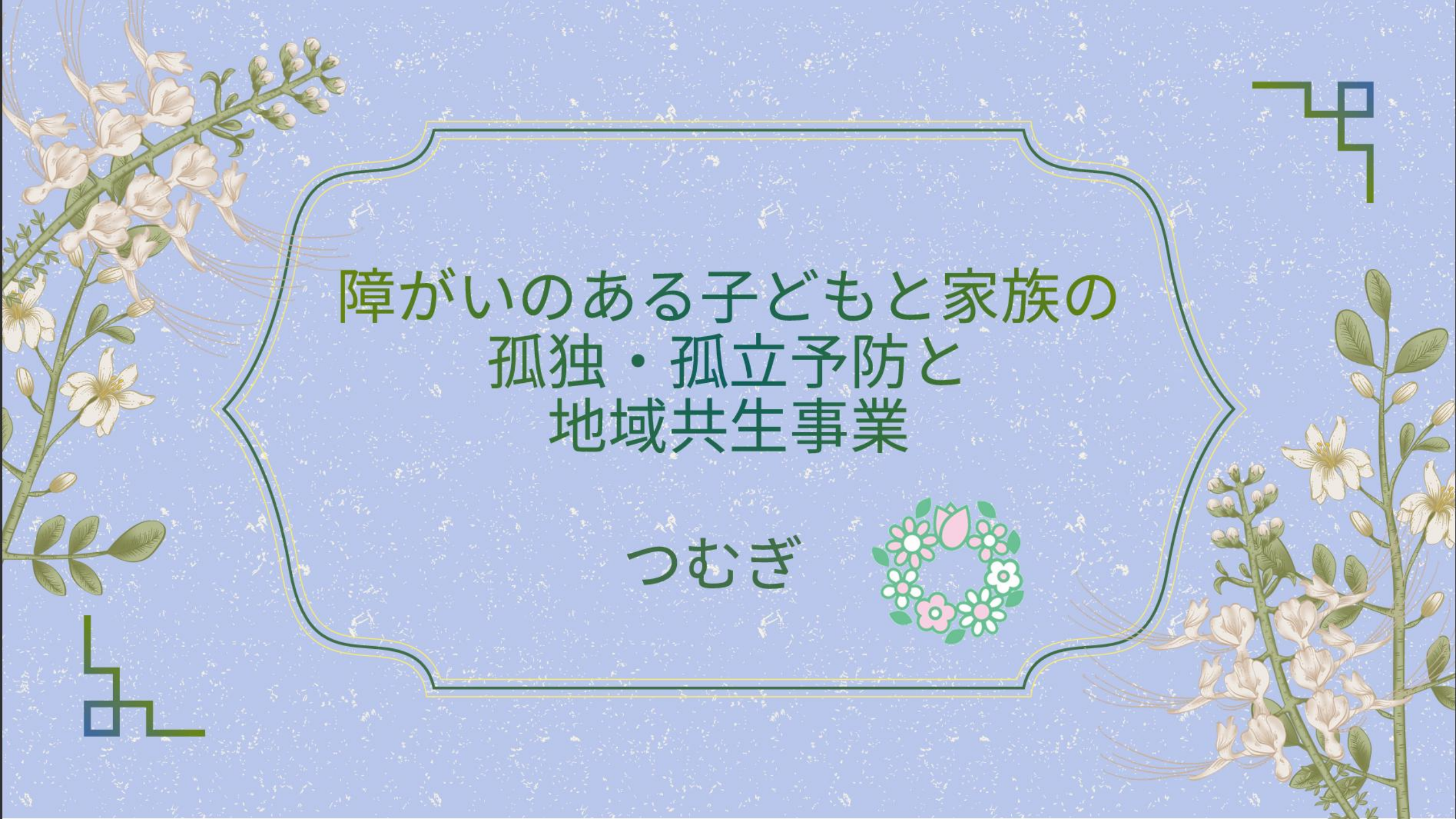




障がいのある子どもと家族の 孤独・孤立予防と 地域共生事業

つむぎ



「つむぎ」とは？



- ・ 2021年8月、大阪市城東区で活動スタート
- ・ 障がいのある子どもと家族が
安心して暮らせる地域を目指して活動
- ・ 代表自身も障がいのある子どもを育てる
保護者のひとり。保育士、防災士の資格を
活かして活動を展開



なぜ「つむぎ」を始めたのか

- ・ 同じ立場の保護者と出会う機会が少ない
- ・ 気軽に相談したり、安心して話したりできる場所が少ない
- ・ 進路や学校生活、福祉制度など、分からないことや迷うことが多い

同じ立場の保護者や、支援に関わる人たちと
安心してつながれる場をつくりたい

つむぎの取り組み②

SNS・YouTubeでの情報発信

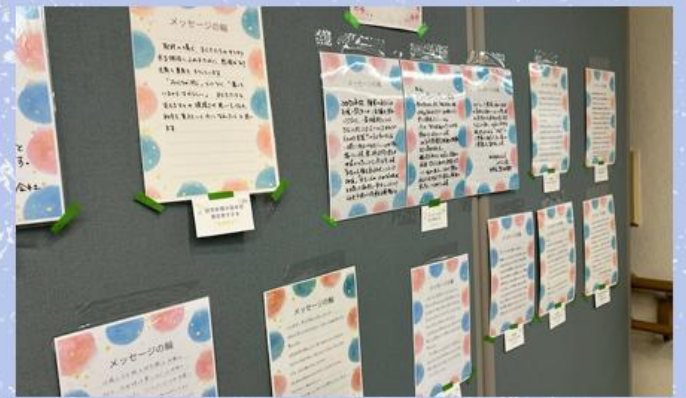
- ・InstagramやXで、定例会やイベント、子育て、福祉に関する情報を発信
- ・YouTube「つむぎチャンネル」では障がい児家庭に役立つ情報を動画で発信



対面での活動に加え、オンラインでも情報を発信

つむぎの取り組み③ 世界自閉症啓発デーイベント

- ・ 自閉症や発達障がいへの理解を地域に広げるため、世界自閉症啓発デーに合わせて開催
- ・ 企業・団体・地域・当事者から寄せられたメッセージ展示、ブルーリボン制作、支援教材の展示・体験、巨大絵制作などを実施
- ・ 令和8年度は約80名が参加



つむぎの取り組み④ 作品を通してつながる 冬の作品展

- ・障がいのある子どもから大人まで、さまざまな作品を展示
- ・作品を通して、一人ひとりの個性や表現にふれてもらう機会に
- ・作品展示だけでなく、工作や共同制作など、来場者も楽しめる企画を実施
- ・昨年度は2日間で延べ200人以上が来場



つむぎの取り組み⑤

体験して学ぶ 親子防災ワークショップ

- ・障がいのある子どもと家族が、楽しみながら防災を学ぶ体験型ワークショップ
- ・防災トイレや非常食など、家庭での備えにつながるさまざまな体験ブースを設置
- ・多くのブースで、「知る」だけでなく、実際に見て・触れて・やってみることを大切に
- ・2026年は9つの体験ブースを実施し117名が参加



防災トイレ



アルファ米



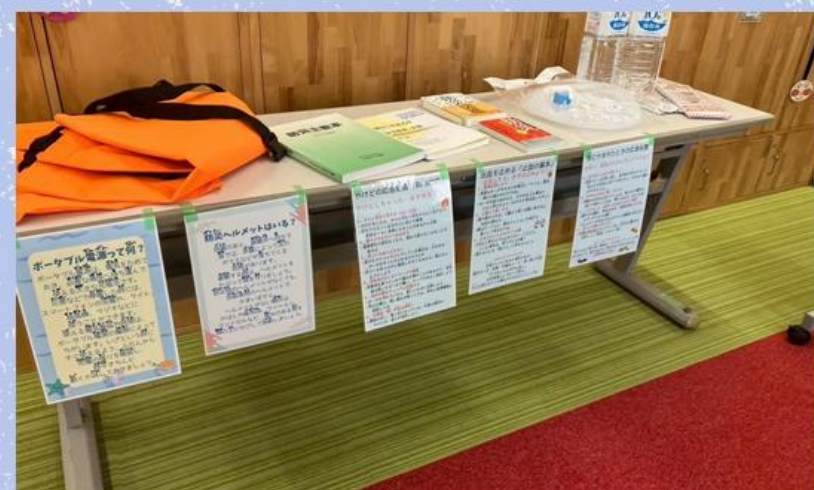
経口補水液作り



紙皿作り



段ボールベッド
ウォーターベッド



展示コーナー



防災トイレ



給水ポリマー体験



防災ポーチ作り



気化熱体験



紙皿作り



防災クイズ

これらの活動を通して

- ・障がいのある子どもと家族が、安心して人や地域とつながれる機会をつくる
- ・必要な情報や支援につながりやすい環境を広げる
- ・障がいへの理解を地域に広げ、さまざまな立場の人がつながるきっかけをつくる
- ・家庭だけで悩みを抱え込まず、地域の中で支え合える関係づくりにつなげる

障がいの有無にかかわらず
誰もが生きやすい社会の実現を目指して



To be continued...

つむぎの活動は
これからも続きます。



想いを紡ぎ、未来を紡ぐ。

